

第1学年英語科学習指導案

平成26年 7月17日(木) 3限

1. 単元名 複数形を使って伝えよう！ 荻町の『桃太郎』の魅力！

(NEW CROWN ENGLISH SERIES 1 Lesson 4 Field Trip)

2. 単元の目標

(1) 間違いを恐れずに学んだ英語を用いて積極的にコミュニケーションをとろうとする。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

(2) 複数形の「-s」「-es」、how many~, how much~を使った疑問文、命令文・否定の命令文を適切に使うことができる。

【外国語表現の能力】

(3) 友達が話す英語の内容を理解することができる。

【外国語理解の能力】

(4) 複数形の「-s」「-es」の発音が3とおりにあることを理解する。また、strawberriesのように語尾が子音+yの語の変化を理解する。

【言語や文化についての理解】

3. 単元の評価規準

観点	ア コミュニケーションに対する関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化に対する知識・理解
評価規準	①初めての人との会話においても、間違ふことを恐れず積極的にスピーチしている。	①複数ある名詞の語尾に-s, -esをつけて表現することができる。 ②語句・表現、発音・強勢・イントネーションに留意してスピーチできる。	①メモをとりながら聞き取り、内容を日本語で言うことができる。	①名詞の複数形の作り方と3通りの発音を理解している。 ②動詞カードを活用し、命令文を作ることができる。

4. 単元設定の理由

本単元では複数形と命令文を学習する。前単元では、一般動詞が新出し、一般動詞を使って日常生活における動作の場面を表現できるようになった。さらに、“Do you+動詞~?”や“What do you+動詞~?”などの疑問文を学習したことで表現内容が増えてきた。本単元では複数形を学習するが、複数形は小学校の外国語学習で一度話す練習をしている。身の回りに複数存在する物は多く、表現できる内容はさらに増えることになる。数を尋ねる“How many~?”や値段を尋ねる“How much~?”などの疑問文も小学校の時に学習していることから、改めて複数形の必然的な使用場面を設定することで意欲を喚起できると考える。

本学級の生徒は、元気がよく、楽しい雰囲気在学习中。クラスの雰囲気も明るく、学習に落ち着いて取り組む。ただ、指示した活動に時間がかかる生徒がおり、学習課題も忘れることがある。また、準備物を忘れる傾向にある生徒も数名おり、常に注意を促さなくてはならないのが実情である。5月にとったアンケートによると、全員の生徒が英語を学習することで、コミュニケーションを図ることができるようになりたいという目的意識を持っている。1学期の学習の振り返りでは、「教科書を何度も読むことに頑張った」や、「単語を何度も書く練習をした」が多かった。これからの学習の目標は「もっとぺらぺら話せるようになりたい」「外国の人が話

す英語をもっと理解できるようになりたい」などを挙げた生徒が15名中10名いた。

6月にオーストラリアとニュージーランドからのゲストを8名迎え、交流集会を行った。一人ひとりが自己紹介をした際、教室での練習では大きな声で言っていたが、実際に外国の方を前にして話す場面では、声が小さくなってしまった生徒がいた。終わった後の感想に「もっと大きな声で話せば良かった・・・」等があった。自分の思っていることを緊張のために思うように伝えられなかったということを経験し、「伝わるように話す」ことが大切であることを実感したようである。この体験をとらえてコミュニケーション活動への意欲を高められたと思われる。ほとんどの生徒が9月末にAPUの国際学生を招いて交流集会をもつ予定である。「今度こそは伝えたい・・・」という気持ちを持っている。

このような題材・生徒の実態から、本単元の目標を達成するために次のような手立てを考えている。

- ①warm-up で教科書の音読や暗唱をすることで、「英語を読むことの楽しさ」を味わわせながら場面とともに英語の表現を覚えることにより、運用能力を養う。
- ②「動詞カード」を活用することで、よく使う一般動詞を句で使えるようにし、日常生活を自分なりの英語で表現する助けとする。
- ③「4スキルズシート」により、メモを取りながら聞き、聞いた英語を復元することで、聞くこと、読むこと、書くこと、話すことの4技能を総合的に育成する。
- ④協調学習のジグソー法を取り入れ、一人ひとりが「伝える」ことに目標をもって取り組み、達成感を味わうことができるようにする。

9月のAPUの学生との交流集会で荻町の特産品を紹介する場面を設定することを伝えており、本単元での学習により意欲的に取り組むことが期待される。

5. 単元指導計画と評価計画（8時間扱い）

時間	ねらい・学習活動	単元の評価規準	評価方法	
1	○動詞カードで文作り ○暗唱（場面を確認しながら） ○メモをとるリスニングドリル	○名詞の複数形について、理解する。	後日ペーパーテスト	
2		○疑問詞How many~を用いた文の構造を理解する。 ・相手の持ち物などの数をたずねる。	イ①	後日ペーパーテスト
3		○命令文の用法を理解する。	エ②	後日ペーパーテスト
4		○「4スキルズシート」に挑戦しよう。	ウ①	活動の観察
5		○荻町の「桃太郎」を紹介する文を作ろう。	イ①	活動の観察
6		○荻町の「桃太郎」を伝えよう。 (本時)	ア①	活動の観察
7		○How much ~?の疑問文とその応答を理解する。	ア①	後日ペーパーテスト
後日	<ペーパーテスト> ◇自分の町を紹介する英文を読んで、情報を整理する問題 ◇場面を与えて適当な表現を書く問題	イ① エ①②	ペーパーテスト	

6. 本時案

(1) 題目 カバンの中の写真を使って「もも太郎」を相手に伝えよう。

New Crown English Series Book 1 Lesson 4 複数形, How many~? 命令文, How much~?

(2) ねらい ○ゲストの先生方に、かばんの中に持っている写真について説明することを楽しむ。

(3) 展開

学習活動	支援及び指導上の留意点	時間	備考 (*評価)
1. Greeting	○互いに英語であいさつをさせ、英語を学ぶ雰囲気を作る。	2	ペア活動
2. Review ①教科書の暗唱をする。 ②動詞カードで文を作る。 ③メモをとる「キクミンドリル」に挑戦!!	○気持ちを込めて読むように励ます。 ○自己紹介と持ち物について話す練習をする。 ○メモを取りながら聞き取り、その内容をペアで確認し合う。	1 3	ピクチャーチャート メモ用紙 ワークシート
3. Main Activity ○各グループでトマトを使った品物を紹介する文を練習する。	○ゲストの先生方に自分の話す英語が伝わるように工夫するよう励ます。 Clearly, Correctly, With a Smile	5	*間違ふことを恐れず積極的に話しているか。
○それぞれゲストの先生方に英語で説明する。	・一人が2人のゲストに伝える。 ・それぞれ2つのうちどちらが好きかを聞きとらせる。	1 0	(観察とワークシート)
○3人グループに戻り、結果を報告し合う。そして英語で報告する。	○友だちの結果を聞き、グループでのまとめをする。次のような文章を作るように指示する。 Three teachers like tomato ketchup. Two teachers like tomato juice. など	1 5	
4. まとめをする。 ・聞き取ったことをもとに、英語でふりかえりシートに記入する。	○本時のふりかえりをさせ、本時の目標が達成できたことを確認する。	5	

***M ナインの方々に聞いたことを記録しましょう。**

Name () *漢字で

トマトケチャップについてわかったこと

トマトジュースについてわかったこと

その他のものについてわかったこと

ジャム

英語の授業で使う表現

一つのトマトケチャップに何個のトマトを使っていますか。値段はいくらですか。

How many tomatoes do they use?

How much is it?

一つのトマトジュースに何個のトマトを使っていますか。値段はいくらですか。

How many tomatoes do they use?

How much is it?

一つのジャムの瓶に何個のトマトを使っていますか。値段はいくらですか。

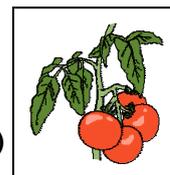
How many tomatoes do they use?

How much is it?

どれが好きですか。

Which do you like?

Cross Talk Activity



* インタビューをしてまとめましょう。 Name()

Name		分担	Interviewee 対話して下さった先生の好みは？	まとめよう
ソース ケチャップ	Yurino	①	ケチャップ ・ ソース	() 人の先生が () を好きです。
	Haruna	②	ケチャップ ・ ソース	() 人の先生が () を好きです。
	Ayu	③	ケチャップ ・ ソース	
	Ryota	④	ケチャップ ・ ソース	
	Ayumu	⑤	ケチャップ ・ ソース	
青トマトドレ 赤トマトドレ	Kannon	①	ジュース ・ ジャム	() 人の先生が () を好きです。
	Yuina	②	ジュース ・ ジャム	() 人の先生が () を好きです。
	Kazuki	③	ジュース ・ ジャム	
	Chihiro	④	ジュース ・ ジャム	
	Takumi	⑤	ジュース ・ ジャム	
ジャム ジュース	Kenta	①	赤ドレ ・ 青ドレ	() 人の先生が () を好きです。
	Ran	②	赤ドレ ・ 青ドレ	() 人の先生が () を好きです。
	Takuma	③	赤ドレ ・ 青ドレ	
	Hinako	④	赤ドレ ・ 青ドレ	
	Junna	⑤	赤ドレ ・ 青ドレ	

* Conclusion(各グループで報告しあってまとめましょう)

*important words

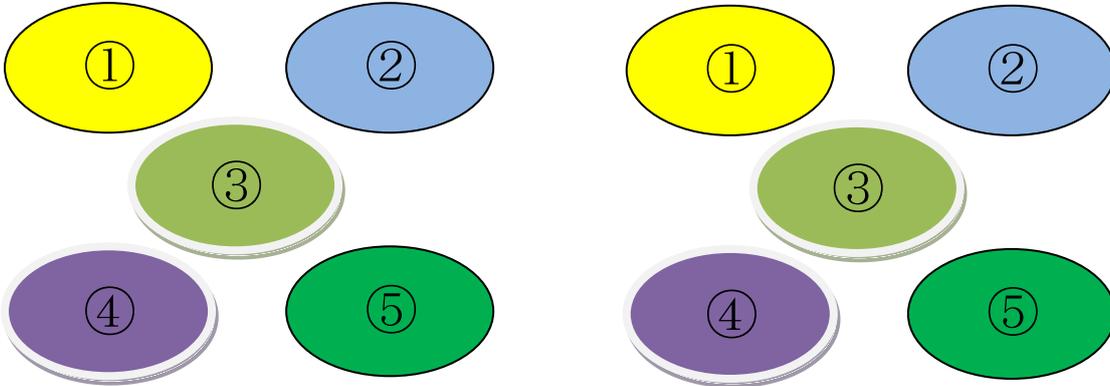
数 one two three four five six seven eight nine ten

先生 teacher(s)

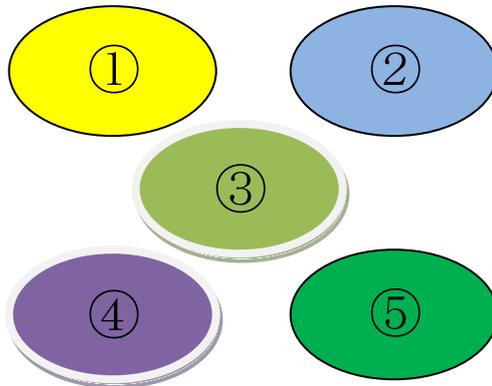
協調学習ジグソー法

Tomato Sauce / Ketchup
 について質問に答えよう

Juice / Jam
 について質問に答えよう



Dressing(red) / Dressing(green)
 について質問に答えよう



トマトケチャップ／トマトソース

- | | |
|----|----------|
| 黄色 | ①の先生に尋ねる |
| 青色 | ②の先生に尋ねる |
| 緑 | ③の先生に尋ねる |
| 紫 | ④の先生に尋ねる |
| 草色 | ⑤の先生に尋ねる |

トマトジュース／トマトジャム

- | | |
|----|----------|
| 黄色 | ①の先生に尋ねる |
| 青色 | ②の先生に尋ねる |
| 緑 | ③の先生に尋ねる |
| 紫 | ④の先生に尋ねる |
| 草色 | ⑤の先生に尋ねる |

青トマトドレッシング／赤トマトドレッシング

- | | |
|----|----------|
| 黄色 | ①の先生に尋ねる |
| 青色 | ②の先生に尋ねる |
| 緑 | ③の先生に尋ねる |
| 紫 | ④の先生に尋ねる |
| 草色 | ⑤の先生に尋ねる |

ジグソー活動でそれぞれの結果をまとめましょう。どのグループもこのような英語ができると思います。

①①①

Three teachers like a jam. Two teachers like a juice.

Two teachers like a green tomato dressing. Three teachers like a red tomato dressing.

One teacher like a sauce. Four teachers like a ketchup. (3単現のsは未習)

*感想を出し合いましょう ()

②②②

③③③

④④④

⑤⑤⑤

「キクミンドリル」の取り組み方

(*本單元では3回取り組みます。)

- ・上手にメモを取りながら聞くことが必要です。
- ・メモを見ながら、どんな内容だったかを自分で確かめます。
- ・これまで学習したことを活用し、英語に復元します。

ドリル1.

1. メモを取りながら聞きましょう。(3番の英語は隠しておきましょう)

2. どんな内容だった?日本語で言ってみよう。

3. 英語に復元しよう。

I have a (1).
I have (2) tomatoes and (3) carrots in
my bag. I have (4) potatoes in my bag too.

ドリル2

1. メモを取りながら聞きましょう。(3番の英語は隠しておきましょう。)

2. どんな内容だった?日本語で言ってみよう。

3. 英語に復元しよう。

Bob: Ami, what do you have in your (1)?
Ami: I have (2) book and (3) CDs.
I like (4).

ドリル3

1. メモを取りながら聞きましょう。(3番の英語は隠しておきましょう)

2. どんな内容だった?日本語で言ってみよう。

3. 英語に復元しよう。

Mr Smith: Wow, you have (1 **many**) pens, Miho.

Miho: Yes, I do. And I have many colors.

Mr Smith: What (2 **color**) do you like?

Miho: I like (3 **blue**).

Mr Smith: How many blue pens do you have?

Miho: Well, I have (4 **three**).

Mr Smith: I see. Do you have red pens too?

Miho: Yes.

Mr Smith: How many red pens do you have?

Miho: I have (5 **four**).

Mr Smith: How about black? How many black pens do you have?

Miho: I have nine black (6 **pens**).

Mr Smith: Wow!